

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月1日

上場会社名 大宝運輸株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9040 URL http://www.taiho-gh.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 忍  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大久保 知明 (TEL) (052) 871-5831  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月1日 配当支払開始予定日 2022年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年3月21日~2022年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,069	2.6	134	1.7	144	1.4	95	△27.2
2022年3月期第2四半期	3,966	△3.8	132	75.2	142	70.9	130	173.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	127.69		—					
2022年3月期第2四半期	175.38		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	9,963	6,238	62.6	8,359.50
2022年3月期	9,950	6,178	62.1	8,278.19

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,238百万円 2022年3月期 6,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00			
2023年3月期(予想)			—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年3月21日~2023年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	5.0	340	38.7	350	36.6	200	△2.1	267.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	756,000株	2022年3月期	756,000株
2023年3月期2Q	9,688株	2022年3月期	9,668株
2023年3月期2Q	746,318株	2022年3月期2Q	746,373株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気の持ち直しが期待されるものの、資源価格の上昇や急激な円安の進行による物価の上昇など、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

その結果、営業収益は40億69百万円（前年同四半期比2.6%増）、経常利益は1億44百万円（前年同四半期比1.4%増）、四半期純利益は95百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、36億24百万円（前期末比3.3%増、1億14百万円増）となり、そのうち現金及び預金は20億36百万円（前期末比1億9百万円減）、受取手形及び営業未収入金は15億11百万円（前期末比1億84百万円増）となりました。

固定資産は、63億38百万円（前期末比1.6%減、1億1百万円減）となり、そのうち有形固定資産は58億57百万円（前期末比1億5百万円減）、投資有価証券は2億28百万円（前期末比3百万円増）となりました。

流動負債は、12億64百万円（前期末比2.9%増、35百万円増）となり、そのうち営業未払金は3億9百万円（前期末比67百万円増）、賞与引当金は1億76百万円（前期末比2百万円増）となりました。

固定負債は、24億60百万円（前期末比3.3%減、83百万円減）となり、そのうち長期借入金は21億60百万円（前期末比90百万円減）となりました。

純資産は、62億38百万円（前期末比1.0%増、60百万円増）となり、そのうち利益剰余金は39億75百万円（前期末比57百万円増）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年4月28日の決算短信発表時点と変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月20日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,145,722	2,036,399
受取手形及び営業未収入金	1,327,616	1,511,816
貯蔵品	13,832	11,636
その他	24,759	66,539
貸倒引当金	△1,400	△1,600
流動資産合計	3,510,531	3,624,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,259,455	7,247,899
減価償却累計額	△4,688,480	△4,760,874
建物及び構築物（純額）	2,570,975	2,487,024
機械装置及び運搬具	1,504,461	1,473,463
減価償却累計額	△1,392,407	△1,370,030
機械装置及び運搬具（純額）	112,054	103,433
土地	3,163,267	3,163,267
その他	386,378	388,715
減価償却累計額	△270,112	△285,398
その他（純額）	116,265	103,316
有形固定資産合計	5,962,562	5,857,041
無形固定資産	24,432	20,627
投資その他の資産		
投資有価証券	225,033	228,776
差入保証金	54,463	53,901
その他	173,315	178,209
投資その他の資産合計	452,811	460,887
固定資産合計	6,439,805	6,338,556
資産合計	9,950,337	9,963,348

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月20日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	242,832	309,938
1年内返済予定の長期借入金	180,540	180,540
未払法人税等	109,805	67,917
賞与引当金	173,508	176,160
役員賞与引当金	24,000	12,000
その他	498,091	517,762
流動負債合計	1,228,778	1,264,318
固定負債		
長期借入金	2,250,767	2,160,497
退職給付引当金	63,427	64,674
役員退職慰労引当金	190,690	192,932
その他	38,400	42,133
固定負債合計	2,543,284	2,460,236
負債合計	3,772,063	3,724,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,140,000	1,140,000
資本剰余金	1,120,000	1,120,000
利益剰余金	3,917,426	3,975,405
自己株式	△32,779	△32,841
株主資本合計	6,144,646	6,202,563
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,627	36,229
評価・換算差額等合計	33,627	36,229
純資産合計	6,178,274	6,238,793
負債純資産合計	9,950,337	9,963,348

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年3月21日 至2021年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自2022年3月21日 至2022年9月20日)
営業収益	3,966,379	4,069,976
営業原価	3,635,835	3,737,991
営業総利益	330,544	331,984
販売費及び一般管理費	198,273	197,493
営業利益	132,270	134,491
営業外収益		
受取利息	34	17
受取配当金	8,937	9,176
受取保険金	2,700	2,781
補助金収入	—	204
その他	3,445	2,311
営業外収益合計	15,117	14,491
営業外費用		
支払利息	4,727	4,382
その他	3	—
営業外費用合計	4,730	4,382
経常利益	142,657	144,600
特別利益		
固定資産売却益	6,801	4,296
投資有価証券売却益	49,761	—
特別利益合計	56,563	4,296
特別損失		
固定資産除却損	513	510
特別損失合計	513	510
税引前四半期純利益	198,707	148,386
法人税、住民税及び事業税	64,500	50,500
法人税等調整額	3,307	2,591
法人税等合計	67,807	53,091
四半期純利益	130,899	95,295

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	198,707	148,386
減価償却費	127,244	122,470
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,050	2,652
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,000	△12,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,374	1,247
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,241	2,241
受取利息及び受取配当金	△8,971	△9,193
支払利息	4,727	4,382
固定資産売却損益 (△は益)	△6,801	△4,296
固定資産除却損	513	510
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49,761	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△86,898	△184,200
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,030	2,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,879	67,105
その他	△149,096	△19,954
小計	17,490	121,747
利息及び配当金の受取額	8,971	9,193
利息の支払額	△4,727	△4,382
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,531	△91,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,203	35,437
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△44,368	△16,036
有形固定資産の売却による収入	6,801	4,330
投資有価証券の売却による収入	68,058	—
その他	285	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	230,776	△11,846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△99,950	△90,270
割賦債務の返済による支出	△4,862	△5,199
配当金の支払額	△36,979	△37,384
自己株式の取得による支出	△99	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,891	△132,914
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	108,088	△109,323
現金及び現金同等物の期首残高	1,833,396	2,145,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,941,484	2,036,399



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。また、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は物流事業であり、その他の事業の売上高、利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。